

# なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～

## どうして、秋になると葉っぱは赤や黄色になるの？

人間にも一生があるように、葉っぱにも生まれてから命が終わるまでのドラマがあります。葉っぱの一生は、春に木の梢に芽吹いて若葉となり、夏には深い緑色の立派な姿になり涼しい木陰を作って暑さを和らげてくれます。また太陽の光を利用してエネルギーを生み出し、同時に新鮮な空気（酸素）を作ってくれます。そして秋には赤や黄色の美しい姿に変身して私たちの目を楽しませてくれます。

私たち人間は、お肉や野菜を食べてエネルギーを貰わないと生きてゆけません。おいしい空気がないと呼吸することができません。ほんとうに小さな葉っぱのお陰で私たちの命は支えられているのです。

やがて冷たい北風が吹くころには、役割を終えた葉っぱは、お別れの準備をし、落ち葉となって土に帰っていきます。どうしてあんなに綺麗な色に変化するのか、葉っぱの気持ちは誰にもわかりません。

秋の日、鮮やかに色づいた葉っぱからは「この世界で変わらないものは何一つない、動物も植物も、山や川だってみんな移り変わっていくんだよ、だから今を精いっぱい生きることが大事なんだ」こんな呼びかけが聞こえてくるようです。

